

# ふれあいの橋の会

REPORT さかい

訪問日 2026年2月19日(木) 10:00 ~ 11:30

訪問先 通所リハビリテーションさかい幸朋苑(デイケア) 境港市誠道町 2082

出席者 【委員】 川口 昭一、中本 勝

【さかいエリア】 濱田 壮 (さかいエリア総合施設長)  
渡部 信之 (介護老人保健施設さかい幸朋苑 施設長・医師)  
松本 竜太 (通所リハビリテーションさかい幸朋苑 係長)  
【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

## Sakai Area Report



### ■さかいエリアの現況

**開会(荒井)**：今日は、通所リハビリテーションさかい幸朋苑(デイケア)を見学していただきます。

一般型と短時間型に分かれた運営で、連日多くの皆さんが通われ、機能回復に向けた取り組みが進められています。また、年度末を控え、来年度の「ふれあいの橋の会」の運営についても検討を進めています。濱田総合施設長から運営内容の提案、さかいエリアの現況報告をお願いします。

**濱田総合**：毎回、委員の皆様から貴重なご提言をいただき、感謝しています。改善すべき箇所については、すぐに取り組むことにしていますが、ふれあいの橋の会では、法人及び職員が取り組んでいることについても知っていただき、ご理解を深める機会にしたいと考えています。特にノーリフティングケア(抱え上げない介護)やユマニチュード(人間らしさを尊重する介護・看護の技法)の取り組みは先駆的です。先日、家族会で特養の主任が紹介しましたが、出席者の皆さんから



「感動しました。こんなに丁寧なケアをしていただいていたなんて知りませんでした」という声を聞くことができました。その他にも様々な取り組みをしていますので、**見学スケジュールに加えたい**と思っています。また、**委員の追加補充**を考えています。さかいデイケアでは、短時間型と一般型のサービスを提供し、リハビリ職も充実していますので、ご利用者から高く評価されています。

**荒井監事**：継続事業は、常にマンネリ化しないよう工夫が必要だと思います。会の内容充実に向け、皆さんのご協力をお願いします。

## ■概要と課題

**荒井監事**：次に、デイケアの管理者を兼務されている老健の渡部施設長から、**介護保険の概要**について話してください。

**渡部施設長**：私は、急性期病院の医師として長年勤務してきました。病院では、病気治療が中心になりますので、ベッドに臥床する期間が長くなると、**筋力が低下**します。退院して自宅に帰っても、日常生活に支障があり、家に閉じこもりがちになります。介護保険では、要介護状態になっても**住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう**、在宅系のサービスが充実しています。デイケアもその一つです。機能回復の訓練を続けると、低下した機能が回復するとともに、不安が解消されます。私は訪問リハビリにも関わっていますが、在宅での生活がうまくゆかない人も継続訪問で効果が出てきます。小規模多機能施設や通所介護、訪問看護などの利用もあります。施設系サービスでは、特養、老健、グループホーム、ケアハウスなどがあり、状態に応じて利用できます。老健の場合、長期の利用はできませんが、**入居期間中に退居後に利用すべきサービスを見極め、助言**します。国は、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供できる「**地域包括システム**」の実現を目指しています。

**中本委員**：ふれあいの橋の会で、様々な事業所を見学し、理解できているはずですが、提供されているサービスが多く、実際に利用するとなると迷ってしまいそうです。

**渡部施設長**：そうした場合、地域包括支援センターやケアプランセンター、各施設には**ケアマネジャーが配置**されていますので、**気軽に相談**されることをお勧めします。

**松本係長**：**さかいデイケアの概要**を説明します。1日の利用定員は50名で、9：00～17：00までの**一般型**の定員は38名、午前・午後2時間の**短時間型**の定員は12名ずつです。一般型は、リハビリ以外にも入浴や食事、交流などのサービスを一日を通して提供しています。短時間型はリハビリが中心になります。短時間型を利用してから一般型の利用に移行する人もあります。機能回復訓練は、毎日継続することで効果が表れますが、事業所の利用は毎日ではないので、自宅でもできるよう指導しています。在宅系サービスは、多くの種類がありますが、それぞれの特色を理解し利用してください。②





## ■施設内外の点検・提言

**荒井監事**：施設内を見学していただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

**中本委員**：テレビや新聞等で、高齢者に対する虐待事案の報道がありますが、こうほうえんでは発生していませんか。

**渡部施設長**：虐待防止に向けた研修など、様々な取り組みを進めています。今後とも発生しないよう徹底を図ってまいります。

**中本委員**：利用者数が多く、お世話する職員の皆さんは大変だろうと感じました。配置されている職員数は足りていますか。

**渡部施設長**：各事業所ごとに職員の配置基準があり、それに基づいています。他法人の配置数と比較しても充足されていると感じています。数年前は〇人いたのに、補充されない、人員不足だと思う傾向がありますが、他法人の状況も含め判断しないとイケないと思います。事業所運営でも他法人を見学するなど、見直す必要があります。

**荒井監事**：昼食後に、体操やレクリエーションを取り入れている事業所が多いですが、内容や方法についても、常に工夫が必要でご利用者の満足度にも繋がると思います。

**渡部施設長**：私は、病院勤務をしていましたが、異動がありますので、病院が変わるごとに新鮮な感覚になり、新たな知識、技術を得ることができました。

**中本委員**：私は、民間の建設会社で勤務していましたので、広島、大阪、愛知・・・と転勤しましたが、その都度に意識改革ができ、交流の輪が広がりました。

**川口委員**：私は航空自衛隊で勤務していました。他の隊員より異動は少ないほうですが、勉強になりました。同じ場所にいると前例踏襲型になりますね。 ③



**荒井監事**：市内には、他法人が運営するリハビリ付きのデイサービスセンターがあります。競合する面はありませんか。

**松本係長**：こうほうえんは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などリハビリ専門の職員が十分に配置されていますので、他法人を上回るケアが提供できていると思っています。

**川口委員**：知人がデイケアを利用しており、機能回復訓練を続けたところ、随分良くなったと喜んでいました。

**中本委員**：施設内は、掃除が行き届いていました。職員の挨拶も明るく、気持ちよく見学出来ました。法人の理念やスローガンなどが掲示されていましたが、職員が日々目標を持って勤務することはとてもいいことです。

**渡部施設長**：全職員が暗記しており、朝礼等で復唱しています。私たちは、サービス提供のプロであり、ご利用者への情報も正しく伝えなくてはいけないと思っています。老健を退居される際にはもっと丁寧に情報を伝えたいと思います。また、老健やデイケアでは、病状や介護度のレベルで分けしたほうが、利用者同士のコミュニケーションが充実するのではと考えています。

**川口委員**：掲示板も春の訪れを感じる工夫がされていました。一般型のデイケアは、広い空間が広がっていましたが、雑然とした印象がありますので、テーブルの配置等に工夫が必要だと感じました。

**荒井監事**：言葉のリハビリを受けている人や家族を対象とした交流会「ことの葉カフェ」が再開されていると聞きました。さかい幸朋苑の独自事業であり、期待しています。

**渡部施設長**：「ことの葉カフェ」につきましてはコロナ渦で中断していましたが、令和5年10月から再開し、年に2回（春、秋）開催しています。

**荒井監事**：さかいエリアの「ふれあいの橋の会」では、先駆的に取り組んでいる事業を見ていただこうと考えています。ことの葉カフェにも参加していただくといいですね。

次回は、3月19日（木）10：00～ 訪問看護、訪問リハ、ホームヘルプ です。

④

